

# 課題となる学習内容を克服する授業づくり、 補充学習、家庭学習に取り組んでいますか

**学力向上  
担当者  
必見!**

課題となる学習内容の克服に向けて、計画的な取組が進んでいますか。学校としての取組の点検と見直しを行い、学習内容の確実な定着を図りましょう。

日々の教育実践を振り返り、チェックしてみよう!



## 課題の明確化と共有

- 学力調査等の結果から課題となる学習内容を明確にし、教員間で共有している。
- 質問紙調査等の結果から家庭学習の課題を明確にし、教員間で共有している。

## 授業づくり

- 課題となる学習内容を扱う指導学年と関連学年を確認し、当該学年の学習指導に重点的に取り組んでいる。
- 国語で課題が見られた「読む」「書く」「話す・聞く」等に関する言語活動を各教科の授業に取り入れている。  
(例) 「目的や意図に応じて、表やグラフを基に情報を読み取り、自分の考えを書く」言語活動等

## 補充学習・家庭学習

- 朝学習や放課後学習等の補充学習に課題となる学習内容を取り入れている。
- 家庭学習に課題となる学習内容を取り入れている。
- 家庭学習は、発達段階に応じた時間を定めて取り組んでいる。  
(例) 小学校 学年×10分以上  
中学校 2時間以上
- 教室や職員室に掲示板等を設置して見える化を行い、家庭学習の内容と量の調整をしている。※主に中学校
- 提出物の点検(内容の把握)と評価(頑張りを認める言葉や記号等)によって意欲付けをしている。

